

メッセージ題「祈り」 <先週の講壇より>

「朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」マルコ 1:35 【口語訳】

年が明けて2日、日本では天皇陛下による新年一般参賀が持たれました。3年ぶりということで、大勢の方の応募があり、当選した人たちが皇居に集いました。そこで天皇陛下は、「3年の月日を経て、きょう、こうして、皆さんと一緒に、新年を祝うことをまことに嬉しく思います。色々大変なこともあるかと思いますが、本年が皆さんにとって安らかで良い年となるよう願っています。年の始めにあたり我が国と世界の人々の幸せを祈ります。」と述べられました。

日本人が一般的に交わし合う「祈ります」という言葉は、具体的な神様への祈りというよりは、「願っています」という意味だと思えます。実際、日本語の国語辞典で調べましたら、そのように説明されていました。

でも私たちは、具体的にお祈りすることが出来ます。全世界を統べ治めておられる、全能なるお方に祈ることが出来るのです。イエス様は、超多忙な3年間をお過ごしになりました。そしてその力の源は、祈りであったと聖書は記しています。私たちも、祈りが力になるということをごひ改めて覚えたいと思えます。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2023年1月15日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「私はこの岩の上に私の教会を建てよう。陰府の門もこれに打ち勝つことはない。私はあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16:18, 19

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

